

巻頭インタビュー

宮城・松島の魅力を世界にPR
～外国人に伝わる「おもてなし」～

ロジャー スミス さん

アメリカ合衆国出身

松島町国際交流員(CIR)

今回の倶楽部MIAの巻頭インタビューは、2014年8月から松島町に国際交流員として勤務されているロジャーさんです。

——ご出身は、アメリカのどちらでしょうか？日本に関心を持たれたきっかけを教えてください。

英国史の研究者である父の勤務先の大学があった関係で、生まれてから高校卒業まで、ペンシルベニア州のフィラデルフィア市で暮らしました。私自身も歴史に興味があり、中学でも高校でも西洋史を勉強しましたが、ものの見方が西洋的なものに偏りがちでつまらなく感じていました。それで、高校生活最後の年、「未知」の歴史を自分で勉強すると決め、地球儀を回してえいと指差すと、そこは南太平洋でした。南太平洋の歴史を学ぶうちにもその多くの島々が日本に占領された史実を知り、東アジアの小さな島国でありながら超大国となった日本に興味を引かれました。

——ユニークな日本との出会いですね。大学に入って、本格的に日本について勉強を始めたのでしょうか？

人文科学、社会科学など幅広い分野の研究とその充実した教育プログラムに定評があるコネチカット州のウェズリアン大学に進学し、東アジアの歴史を専攻しました。言葉が分かると文化の理解も進むと思い、2年生の時に日本語を学び始め、3年生の時には半年間、愛知県にある南山大学に留学しました。寮で台湾人や日本人のルームメイトと生活し、日本人ばかりのテニスサークルにも入部しました。日本語はまだ上手でなく、道路標識も食堂のメニューの漢字も読めませんでしたが、冒険みたいで楽しかったですね。日本語が片言の私に、周囲の人達が優しく接してくれて、すばらしい経験になりました。

——学生時代は学業以外の活動にも積極的で、卒業後に市民団体に働かれたご経験があると伺いました。

ウェズリアン大学は多様性を重んじる学風で、学生の社会的な活動も盛んでした。学生数は2,700人程度でしたが、ボランティアサークルは100以上。私も学生の自治組織の一員として、大学と地域の関係を深める活動などに参加しました。経済的な困難を抱える家庭の子ども達を支援するイベントで漢字を教えた時は、喜ばれましたね。卒業後は10年以上、地球温暖化防止など環境保護に取り組む市民団体に働き、政治家との交渉やロビー活動、市民会議や市民向けのワークショップなどを展開したりしました。2004年には、国内2番目となる州レベルでの地球温暖化防止に関する法律制定を実現し、初めて大きな仕事を成し遂げて嬉しかったことを覚えています。



松島旅館組合の勉強会で、外国人への「おもてなし」のコツについて話すロジャーさん

——市民団体のお仕事でご活躍だったロジャーさん。再び日本に来られることになったのはなぜでしょう？

大学卒業後も留学中の友達とは連絡を取り合い、日本にも何度か遊びに来ていて、「いつか戻りたい」と思っていました。その気持ちが決定的になったのが、東日本大震災でした。「何か自分にできることはないか」と思ったのです。2012年には1ヶ月休職し、仙台市を中心に複数の被災地を訪れ、復興計画の話し合いに参加したり、関係者に取材したりしました。帰国後は、母校の大学の学生達に被災地の現状を伝え、エネルギー問題についても一緒に考えました。そのような経験を通じて、被災地で意義ある仕事をしたいと考えるようになり、国際交流員を志しました。それまでの経緯から、東北、特に被災地への赴任を強く希望したところ、松島町に来ることになりました。

——観光部門の部署に配属されている国際交流員は珍しいようですが、どんなお仕事をしているのでしょうか？

産業観光課観光班で、主に2つの仕事を担当しています。1つ目は、町の外国人観光客の受け入れのレベルを高めることで、ホテルの館内表示を外国人に分かりやすくするために助言したり、英語での接客を指導したりしています。2つ目は、英語による観光情報の発信で、私が手掛けているフェイスブックのページには現在、900人以上のフォロワーがいます。その他、町内を巡る外国人向けの無料のツアーも計画中。旅行者が訪問地や宿泊施設の感想、写真などを投稿するインターネットのサイトは影響力が大きいのですが、東北に関する投稿は少ないため、たくさん投稿してもらおうが目的です。

——今後の抱負を教えてください。

私は2012年の来日時、1人の観光客として松島に来ました。午後遅く円通院を訪れ、その静寂さに心を打たれましたので、配属先を知って幸運だと思いました。円通院だけでなく、松島の観光地は訪れる時間や季節によって様々な美しさ、楽しみ方があるものの、その魅力や見所は外国人に十分知られておらず、今後もインターネットの有効活用などで積極的に広めたいと考えています。日本は今、国を挙げて外国人観光客の受け入れに取り組んでいますが、何でも英語に訳したらよいというわけではなく、例えば温泉付き旅館の案内文の英語版に、「入浴の際はタオルを持っていく」など習慣や文化の説明を加えるような工夫が大事。これからも日本流の「おもてなし」を外国人に伝えるお手伝いをし、観光産業活性化の面から、松島ひいては宮城の復興を応援したいと思います。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2016年4月～5月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2016	4	S	M	T	W	T	F	S	5	S	M	T	W	T	F	S
	4						1	2	1	2	3	4	5	6	7	
		3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	
		10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	
		17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	
		24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方 ●:主催 ■:会場 🕒:時間 📄:申し込み 💰:参加費 ☎:電話 📠:FAX ✉:Eメール 🏠:ホームページ

4月 APRIL

4～5月 毎週日曜日と祝日

瑞巖寺ボランティアガイド

- 松島善意通訳者の会
- 瑞巖寺
- 🕒 10:00～15:00
- 📄 不要 直接現地へ
- 💰 入館料700円は自己負担
- ☎・FAX 022-354-3678(大浦)
- ✉ hoshido_mutsuo@ybb.ne.jp
- 🏠 http://www.geocities.jp/matsushimagw

4～5月 毎週日曜日

円通院ボランティアガイド

- 松島善意通訳者の会
- 円通院
- 💰 入館料300円は自己負担
- 🕒 ☎・FAX ✉ 🏠 ※瑞巖寺と同じ

4～5月 第2、第4金曜日

CCE野菜バザー

- 地球の子ども通信(CCE)
- 事務局(仙台市泉区南中山1-24-5)
- ☎・FAX 022-376-5382
- ✉ nra55237@nifty.com

4月中旬 日曜日

Hanami お花見ピクニック

- 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ
- 錦町公園
- 🕒 午後
- 📄 要(電話・FAX・メール)
- 💰 無料(1人1品 料理やお菓子を持ち寄り)
- ☎ 022-225-1475
- FAX 022-225-1407
- ✉ contact@alliancefrancaise-sendai.org
- 🏠 http://alliancefrancaise-sendai.org

2日

第140回例会「イタリア文化の夕べ」

イタリアーノのつばやき

- 仙台日伊協会
- レストラン パリンカ
- 🕒 11:30～13:40
- 📄 要(電話・FAX・メール)
- 💰 3,000円
- ☎・FAX 022-255-8331
- ✉ hkwb577@ybb.ne.jp

4日

平成28年度 楽しい日本語教室開講式

- 国際サークル友好21
- 石巻中央公民館
- 🕒 10:00～12:00
- 📄 不要
- 💰 不要
- ☎ 0225-23-2863

13～17日

地球環境を守る「日中友好植林訪中団」派遣(吉林省農安生態保護林建設事業)

- 宮城県日中友好協会
- 吉林省長春市農安県
- 🕒 宮城県日中友好協会
- 💰 135,000円(空港使用料:1,700円、燃油サーチャージ:3,000円を含まず)※1人部屋追加代金20,000円
- ☎・FAX 022-274-3811
- ✉ jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp
- 🏠 www16.plala.or.jp/miyagikenn/

16日

外国人のためのVISA・生活無料相談会

- NPO法人ビザ&ライフサポートインみやぎ
- 大崎タイムス社
- 🕒 11:00～14:00
- 📄 電話にて。当日直接も可能。
- 💰 無料
- ☎ 090-7937-6716
- FAX 022-358-1250
- 🏠 http://www.visa-life-support.jp/

17日

歩いて巡る地域の歴史散策～第34回仙台三十三観音巡り第26番～第33番札所

- NPO法人楽遊ネットワーク宮城
- 集合場所:①JR南仙台駅前
②第31番札所落合観音堂(四郎丸)内
- 🕒 集合時間:①8:00 ②8:45
- 🕒 出発9:00～15:30頃解散予定
- 📄 要(電話・FAX・メール)
- 💰 楽遊ネット会員2,000円 一般2,500円(レジャー保険料・小冊子込)
- ☎ 022-261-9869
- FAX 022-261-0546
- ✉ eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp
- 🏠 http://www.eikaiwa-sendai.jp/rakuyu u.html

楽しい日本語教室「お花見交流会」

- 国際サークル友好21
- 日和山公園
- 🕒 10:00～13:00
- 📄 不要
- 💰 不要
- ☎ 0225-23-2863

花見

- 在仙台ベトナム学生・青年協会(VYSA SENDAI)
- 榎ヶ岡公園
- 🕒 11:00～16:00
- 📄 要(電話・メール)
- 💰 700円(予定)
- ☎ 080-5740-2019 (Ms. Tu)
- ✉ tupam.ftu@gmail.com

20日

申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会

- 宮城県行政書士会

- 仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場
- 🕒 13:00～16:00
- 📄 電話受付または予約なしでもOK
- 💰 無料
- ☎ 022-261-6768
- FAX 022-261-0610

21日

アフリカ社会の歴史の変容～セクシュアリティの歴史と現状

- アフリカ・セミナーの会
- 仙台国際センター 研修室
- 🕒 10:00～12:00
- 📄 不要
- 💰 700円
- ☎・FAX 022-362-7907

30日

「Go for Broke! ハワイ日系二世の記憶」仙台上映会

- NPO法人NAC-J
- せんだいメディアテーク スタジオシアター
- 🕒 ①11:00～②14:30～(1日2回上映)
- 💰 大人2,000円 中学生～大学生1,000円 親子2,500円 小学生以下無料(予定)
- ☎ 090-3501-1249
- FAX 0467-48-3727
- 🏠 hmatsugen@ybb.ne.jp

5月 MAY

14日

国際語紹介「ようこそ、エスペラントへ」

- 仙台エスペラント会
- 仙台市民活動サポートセンター 研修室5
- 🕒 13:30～15:30
- 📄 不要
- 💰 無料
- ☎・FAX 022-389-1620
- ✉ esperanto@goo.jp
- 🏠 sendaiesperantokai@jimdo.com/

15日

歩いて巡る地域の歴史散策～第35回仙台三十三観音巡り第1番～第11番札所

- NPO法人楽遊ネットワーク宮城
- 集合場所:地下鉄東西線「川内」駅前
- 🕒 集合時間:8:45
- 🕒 出発9:00～15:00頃解散予定
- 📄 要(電話・FAX・メール)
- 💰 楽遊ネット会員2,000円 一般2,500円(レジャー保険料・小冊子込)
- ☎ 022-261-9869
- FAX 022-261-0546
- ✉ eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp
- 🏠 http://www.eikaiwa-sendai.jp/rakuyu u.html

18日

申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会

- 宮城県行政書士会



このコーナーでは、MIA宮城県国際化協会の最近の動きをお知らせいたします。
 いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 ✉mail@mia-miyagi.jp まで。お気軽にどうぞ。

外国人観光客誘致を切り口に《多文化共生シンポジウムin 柴田》が開催されました

宮城県と当協会が毎年開催地を変えながら実施している「多文化共生推進シンポジウム」。今年度は、1月31日(日)に柴田町槻木生涯学習センターを会場に実施されました。

柴田町は白石川沿いの「ひとめ千本桜」が有名ですが、近年、外国人観光客も急増し、多言語対応の態勢づくりが喫緊の課題となっています。県内のボランティア通訳の半数以上が海外出身者であるという実態を踏まえ、今回のシンポジウムのテーマは「地元で暮らす海外出身者と共に観光戦略を考える」としたところ、県南地域はもちろん、栗原、石巻、多賀城、仙台など県内各地から約120名のご参加がありました。

基調講演では、国際観光都市として既に実績のある松島町で長年「善意通訳者の会」会長として活躍の相澤多恵子氏から、松島町における通訳活動の取り組み事例だけでなく、柴田町の美しい花壇は観光資源として素晴らしいというエールが送られました。

続くパネルディスカッションでは、冒頭、ホストタウンである柴田町まちづくり政策課長平間忠一氏から、このシンポジウムの開催に期することを話しいただき、続いて柴田在住の陶芸家ジェームス・オベ氏(英国出身)、松島町産業観光課国際交流員ロジャー・スミス氏(米国出身)、栗原市田園観光課主事阿部真澄氏から柴田のインバウンドを応援する様々な助言をいただきました。

「色々な色が混じって元の色を消してしまうのではなく、それぞれの色

の個性を尊重しながらひとつの美しいアーチを形成する虹。私は、そんな虹に多文化共生社会の理想を見出し、自分の作品のモチーフとしています。そんな私の焼き物工房雷窯では製作体験もできますので、観光客の方もどうぞ。」ジェームス・オベ氏

「栗原市では近年、観光戦略にかなり力を入れています。その一つ、市民参加の《くりはら観光塾 インバウンド・ステップアップ講座》事業では、観光英会話の実践として市外在住外国人5か国10人を受け入れてのモニターツアーを実施してみました。反省点を挙げるとすれば、モニターツアーに参加された外国人が日本語も堪能だったため、つい日本語で会話してしまい、学習の効果を発揮できなかったことでしょうか(笑)」阿部真澄氏

「柴田町単独で頑張るのではなく、桜並木の沿線の自治体に暮らす在住外国人ふくめみんなで協力し合い、ぜひ白石城まで続くFlower Road To the Castleというプロジェクトを提案したいと思います」ロジャー・スミス氏

会場の外は、まだ雪景色でしたが、今年の桜の開花が待ち遠しくなるようなシンポジウムとなりました。



定住外国人とともに学ぶ実践介護塾

日本に長く暮らす外国出身者において、介護は徐々に現実的な問題となりつつあり、宮城県に比較的多い日本人の配偶者の中には、夫の父母の介護と向き合っている方も少なくありません。そうした定住外国人の存在を背景として、平成27年度当協会では自治体国際化協会(CLAIR)からの助成を受け、「定住外国人とともに学ぶ実践介護塾」という事業を実施しました。

定住外国人を対象とした全3回シリーズの講座では、「日本の公的介護制度について」「認知症の正しい理解とケア」といった講義やディスカッション、施設見学などを通じて日本の介護全般について学び、また出身国との違いなどを話し合いました。

こまめにはよくある研修会ですが、「介護塾」ではこのあとに介護施設で働いている職員を対象に「アウトプットプログラム」を行いました。介

護施設で働く外国人や上記3回シリーズの講座を受講した外国人と直接話し合い、かれらの声に耳を傾け、「外国人と介護」についてじっくり考えていただく契機となったようです。参加者からは「外国人は介護職として、受け入れにくいという考えが大きく変わった」といった感想がありました。



ロコモティブシンドロームの予防体操



介護ベッドの体験@せんだんの丘(仙台市青葉区)

ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

『【図解】まるわかり時事用語 2016→2017年版』

出版:新星出版社 編著:ニュース・リテラシー研究所

「マイナンバー」、「ビッグデータ」、「危険ドラッグ」等、ニュースで見聞きする時事用語について、イラスト、写真付きで分かりやすく解説されています。1つの項目につき見開き2ページずつのポイントを押さえた説明になっているので、今の国内外の出来事一通り頭の中に入れておくのに役立ちます。中上級レベルの日本語学習者をサポートする際の教材や話のタネとして活用できそうです。



賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費
個人会員 / 1口 3,000円
団体会員 / 1口 10,000円
- 賛助会員の特典
◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)

- ◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免
- ◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引(株)JTB東北仙台支店 宮交観光サービス(株)
- ◎企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供
- 入会方法
◎本協会あて御連絡ください。
所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 MIA vol.84

編集・発行 公益財団法人 宮城県国際化協会
 〒981-0914
 仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号
 宮城県仙台合同庁舎7階
 TEL 022(275)3796
 FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp/

